日立 プラズマテレビ 液晶テレビ AVC ステーション

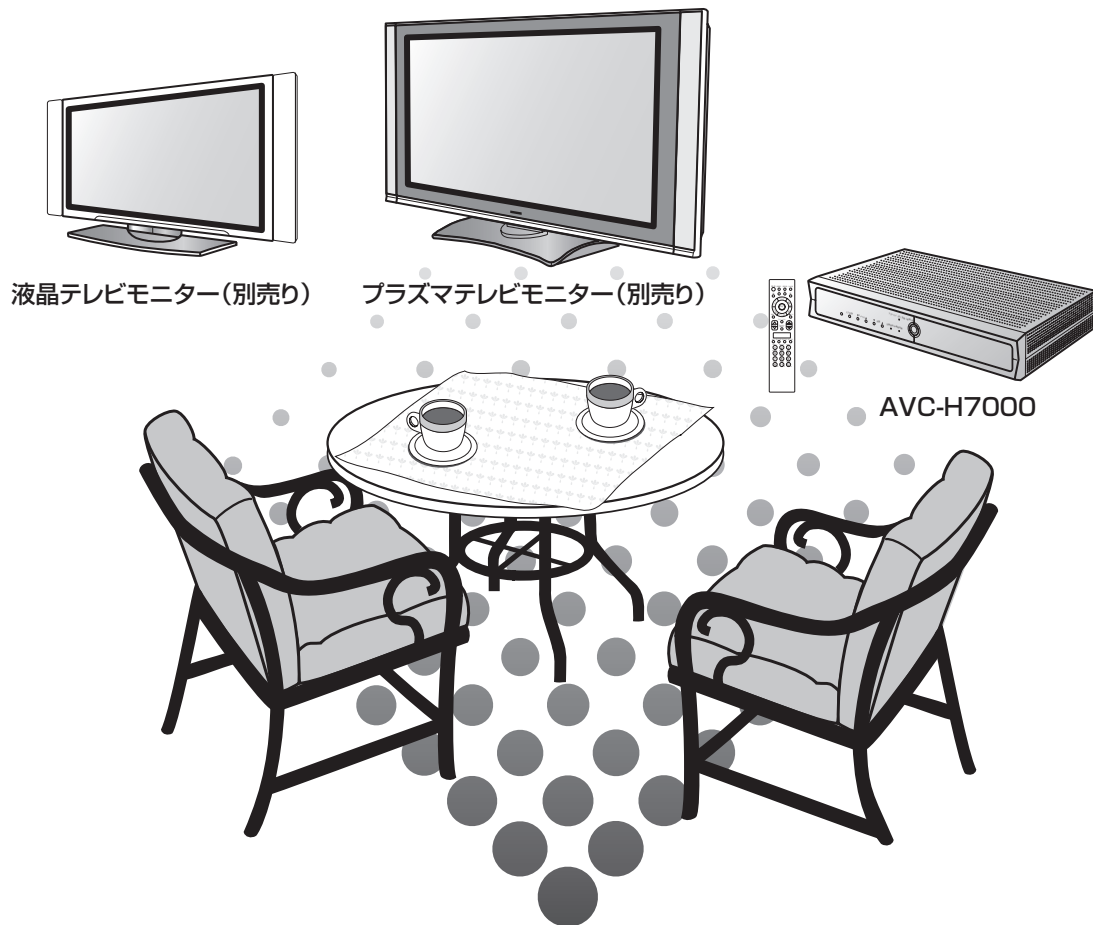
(地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー内蔵）

形名

AVC-H7000

取扱説明書

液晶テレビモニター（別売り） プラズマテレビモニター（別売り）

AVC-H7000

このたびは日立プラズマテレビ / 液晶テレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。
日立プラズマテレビ / 液晶テレビ（地上･BS･110 度 CS デジタルチューナー内蔵）は下記の構成になっています。
本機は必ず専用のプラズマテレビモニター（別売り）または液晶テレビモニター（別売り）と接続してください。
本文中のイラストは主として、W42-P7000 と接続した絵で説明しています。

構成内容
● AVC ステーション部 ● テレビモニター部

ご購入の際は、それぞれが別々の梱包となっております。ご確認願います。

最初に 「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」とモニター付属の 「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

高精細ハイビジョン表示及び現行放送を
高密度処理でハイビジョンと同じ走査線数に変換

DIPP(Digital Image Pixel Processor) 搭載

BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送と
地上デジタル放送の鮮やかな高画質映像と
多機能サービスが楽しめる

地上・BS・110 度 CS デジタルハイビジョンチューナー内蔵 (CATV パススルー対応)

BS・110 度 CS・地上デジタル放送の立体音場を
再現できる

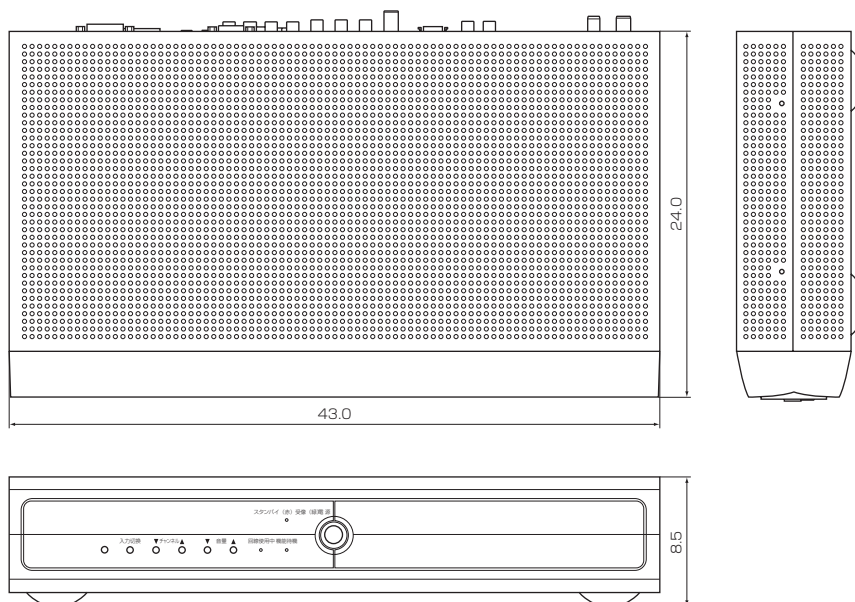
※

※ SRS TruSurround 5.1 DIGITAL は SRS Labs, Inc. の商標です。

AVC ステーション部とモニター部を分離、
AVC ステーション部は縦置き設置も可能、
モニター部は壁掛け設置も可能

薄形軽量設置フリー

SD メモリーカードスロット装備

AVC ステーション寸法図 (cm)

商標について

● i.LINK と i.LINK ロゴ " i " は、ソニー株式会社の商標です。
● D-VHS は、日本ビクター株式会社の登録商標です。
● SD ロゴは商標です。

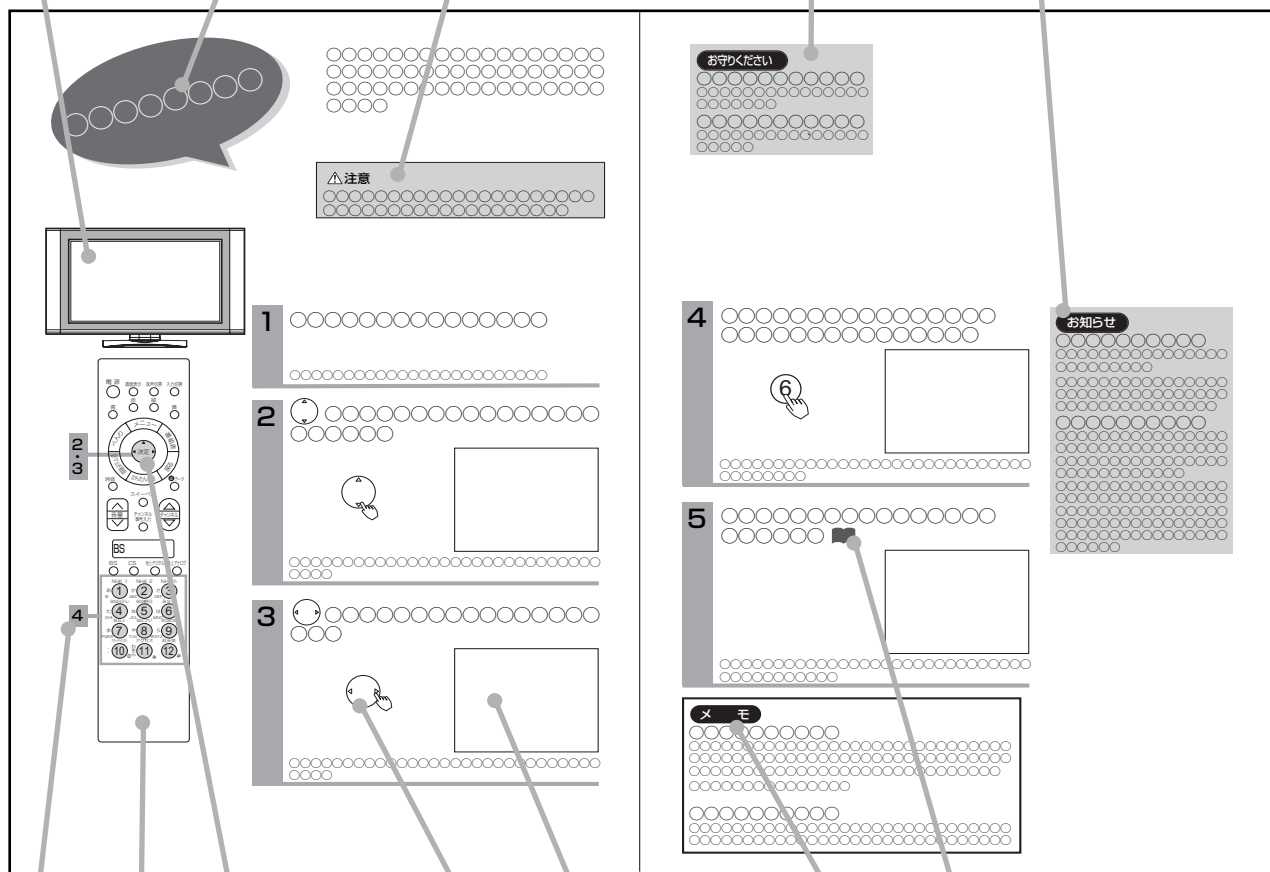
この説明書は、ほとんどが 1 ページまたは 2 ページの見開きで見るようになっています。
（※違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。）

本体部
（特に指定が無い限り、プラズマテレビモニターのイラストで記載しています。）

⚠注意
安全上、守っていただきたいことを記載

お守りください
操作上、守っていただきたいことを記載

お知らせ
操作上、知っておいていただきたいことを記載

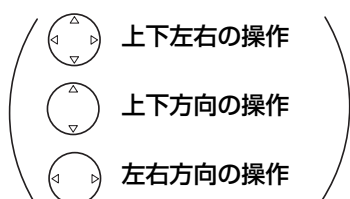
タイトル

カーソルボタン

手順の説明

参照ページの記号

リモコン

イラストからの引出番号は操作する順番です

カーソルボタンの記号

上下左右の操作

上下方向の操作

左右方向の操作

メ　モ
知っていると便利な操作・解説

はじめに

基本の使いかた

映像･音声の設定

多機能の使いかた

デジタル放送の楽しみかた

設　置

ご　参　考

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

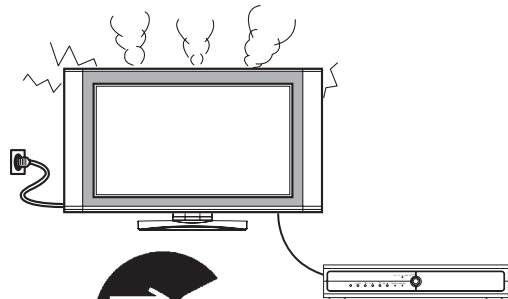
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味

- 気をつけなければならない。「注意」を示します。
- 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。
- してはいけない。「禁止」を示します。
- 必ず行う。「強制」を示します。

警告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは

- **煙が出ている、へんな臭いや音がする**
- **画が乱れる・映らない、音がでない**
- **本機の内部に異物（水、金属など）が入った**

など

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

設置をするとき

⚠警告

■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

●プラズマディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

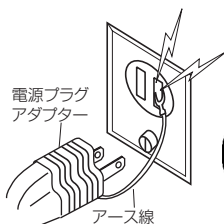
■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線など、定格を超えると発熱により、火災の原因となります。

■ アース端子を電源コンセントに差し込まない

火災感電の原因となります。

⚠注意

■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

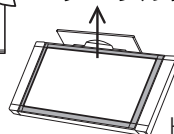
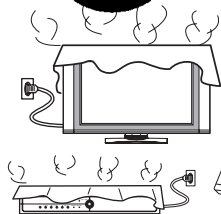
■ 通風孔をふさがない

火災の原因となることがあります。

通風孔を壁から 10cm 以上離して据えつけてください。（モニターを壁掛け設置する場合は除く）

特につぎのような使い方はしないでください。

- ●本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- ●風通しの悪い狭い所に置く。
- ●じゅうたんや布団の上に置く。
- ●テーブルクロスなどを掛ける。

⚠注意

■キャスターで（車）止めをする

テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。
テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

■転倒防止の処置を行う

モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

- 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

使用するとき

⚠警告

■本機の上に花びんなどを置かない

水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。
- ペットが乗らない様、ご注意ください。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

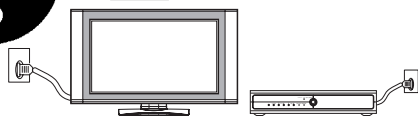
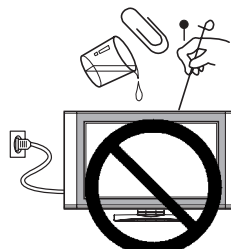
- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■風呂場やシャワー室で使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■指定の電源電圧で使用する

本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

■異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。
万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
特にお子様にはご注意ください。

■裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く

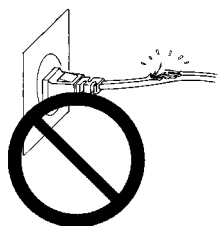
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない

接触禁止

感電の原因となります。

⚠警告

■電源コードを傷つけない

火災・感電の原因となります。
傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。
- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

■衝撃を与えない

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

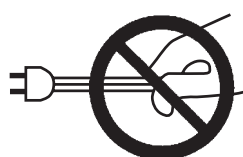
■電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■スイーベル回転範囲内に物を置いたり操作中に顔や手などを入れない

ものが倒れて壊れたり、けがの原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■本機の上に重いものを置かない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■間違った電池の使い方をしない

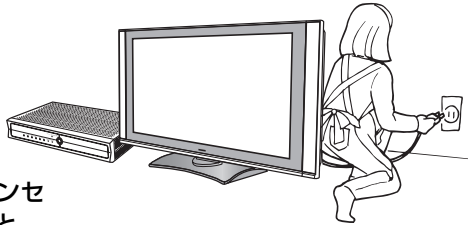
電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
特に、次の使い方はしない。
- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

■長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

お手入れするとき

⚠注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■ 高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■ キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんは、キャビネット変質の原因となりますのでご使用にならないでください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
  ・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

■ 搬送についてのご注意

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

お知らせ

■電話回線の接続が必要です

デジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS）の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

■インターネット網への接続が必要です。

地上デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。
インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz～2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、AVCステーションの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（モニター主電源オフ／スタンバイ／機能待機）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

■天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS〔（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、AVCステーション本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。

■ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行うことがあります。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、リモコンで電源を切った状態にしておくことをお勧めします。

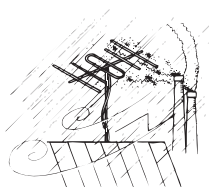
お知らせ（つづき）

■ 110 度 CS デジタル放送をご覧になるには

110 度 CS デジタル放送に対応したアンテナが必要です。また､ブースターや分配器などをご使用の場合は､2150MHz 対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

■ ご覧になる位置は

画面のたての長さの 3 ～ 7 倍離れた場所でご覧になれば、見やすくて疲れにくくなります。

■ アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。

特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■ ファンモーターについて

本機は、電源を入れると AVC ステーション内部の温度を下げるためにファンモーターの動作音がするときがありますが、故障ではありません。

■ 本機の温度について

本機は､長時間使用したり､密閉されたラックに入れて使用したときなどに､上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

■ 本機に記憶される個人情報などについて

お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

■ メモリーカードについて

本機またはメモリーカードリーダーに挿入されたメモリーカードに保存、記憶されているデータは、本機の操作を誤った場合や静電気などのノイズの影響を受けた場合、消失する恐れがあります。この場合の損害や不利益については、当社は一切の責任を負うものではありません。大切なデータは、他のメディアにバックアップを取って置くことをおすすめします。

■本製品には、ACCESS 社製データ放送用 BML ブラウザ NetFront v3.0 DTV Profile を搭載しています。
NetFront は株式会社 ACCESS の日本国における登録商標です。

ACCESS NetFront v3.0 DTV Profile

留意点

■付属のB-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたがビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。

デジタル放送には、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送および地上デジタル放送があります。BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送は、それぞれ東経 110 度に位置する放送衛星および通信衛星を利用したデジタル放送です。本機では、110 度 CS 対応 BS デジタルアンテナを使用することで、両方の放送を受信することができます。また、地上デジタル放送は、UHF 帯域の電波を使って放送されますので、デジタル放送のチャンネルに対応した UHF アンテナを使用することにより、受信することができます。

デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線 1125 本（有効 1080 本）飛び越し走査の 1125i（1080i）と走査線 750 本（有効 720 本）順次走査の 750p（720p）放送の 2 種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送と比較して多チャンネル放送がおこなえます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化のほかに、独立データ放送やデジタルラジオ放送もおこなわれます。

データ放送

文字や静止画によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の 2 種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります。(地上デジタル放送では、インターネット網への接続が必要な場合があります。)

サラウンド・ステレオ

音声信号圧縮技術 MPEG-2 AAC 方式の採用により、最大 5.1 チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1 チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくには AAC 方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。
[5.1 チャンネル：5 チャンネルステレオ＋低域強調チャンネル]

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

デジタル放送では、それぞれの放送に対して約 1 週間分の番組情報が送られることがあります。電子番組ガイドを利用し、画面上にそれぞれのデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、視聴や録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

BS デジタル放送について

BS デジタル放送は、東経 110 度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心であり、無料放送が多いのも特長です。（一部有料放送もあります）
基本的に放送事業者ごとの放送となるため、視聴契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110 度 CS デジタル放送について

110 度 CS デジタル放送は、東経 110 度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BS デジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心であり、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です。（一部無料放送もあります）

地上デジタル放送について

2003 年 12 月から順次、放送開始予定の地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送に加えて、データ放送や双方向データサービスなどが予定されています。地上アナログ放送に比べてゴーストなどの影響を受けにくいのも特長です。(有料放送はありません。)

お知らせ

110 度 CS デジタル放送は、従来の CS デジタル放送　スカイパーフェク TV!(スカパー !)（東経 128 度、124 度の JSAT-3、JSAT-4 を利用）とは異なる放送です。従来のスカイパーフェク TV!(スカパー !) 放送を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。

受信契約について

B-CAS カードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送では、限定受信システム（CAS）を使って視聴者の受信状況を管理します。本機に付属の B-CAS カードを挿入しておくと、有料番組の契約や購入状況情報が B-CAS カードに記憶されます。その情報は電話回線を使って（株）B-CAS へ自動送信され、管理されます。

110度CSデジタル放送
N-SAT-110
（東経110°）

BSデジタル放送
BSAT-1bまたは2a
（東経110°）

お客様

110度CS対応
BSデジタルアンテナ

AVCステーション

B-CAS
カード

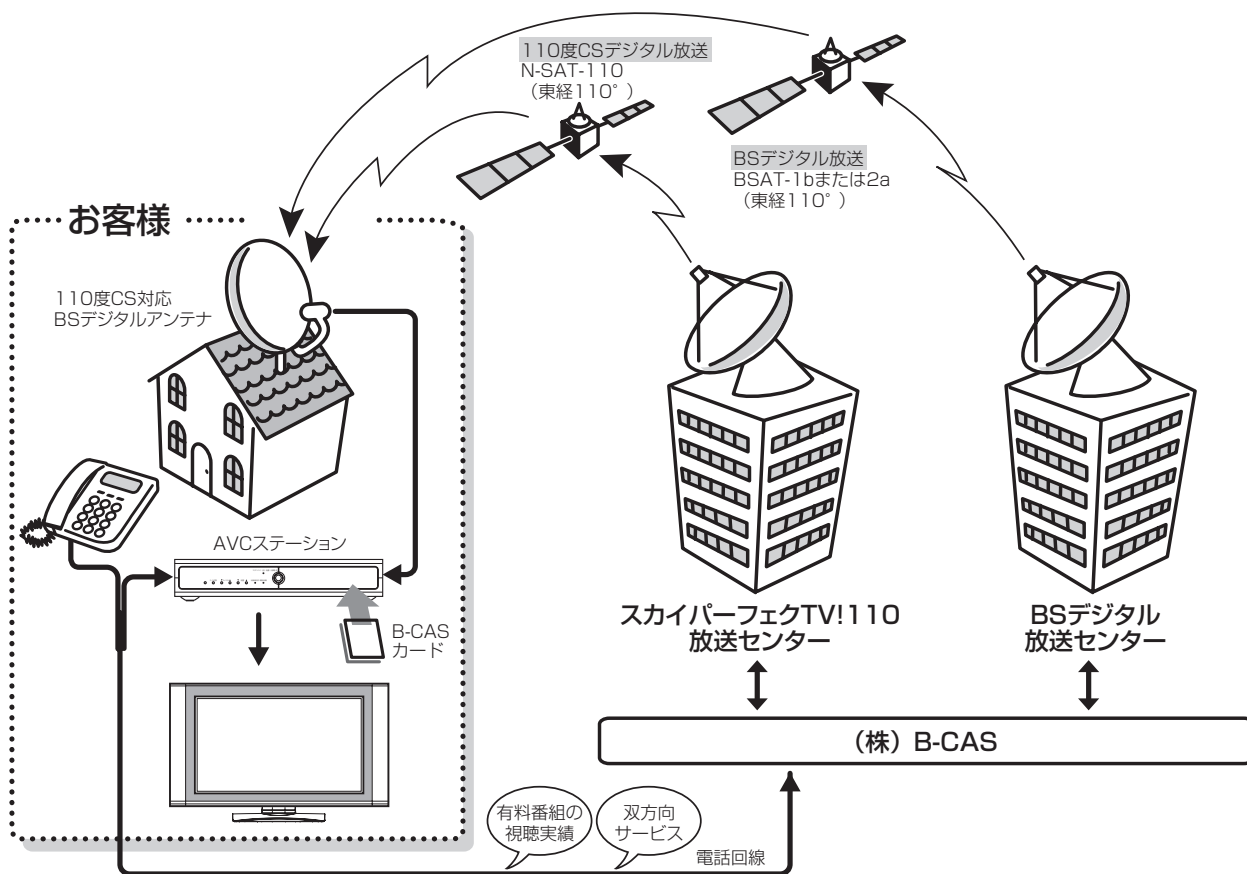
スカイパーフェクTV!110
放送センター

BSデジタル
放送センター

（株）B-CAS

有料番組の
視聴実績

双方向
サービス

電話回線

B-CAS カードの登録
本機に付属のB-CASカードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入・押印してポストに投かんし、B-CAS カードを必ず登録してください。
（登録料は無料です）

デジタル放送を視聴する場合には、必ず B-CAS カードを挿入してください。
B-CAS カードは、有料放送の課金や放送局からのメッセージの管理等のほか、著作権保護の為のコピー制御にも利用されています。そのため、地上・BS デジタル放送は、B-CAS カードを挿入しないと映りません。

BS デジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●WOWOW、スター・チャンネルなどの BS デジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、B-CAS カードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
●有料放送を視聴するには、お客様の視聴したい番組を放送している放送局へ加入申し込みをして契約する必要があります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、ポストに投かんしてください。
●詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2004 年 8 月現在の BS デジタル放送局（ＮＨＫと有料放送局）の電話番号、ホームページアドレスおよびチャンネル番号は、次のようになっております。

BS 放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス	BS 放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン （101、102、103ch）	0120 － 151515 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.nhk.or.jp/ps/	WOWOW （191、192、193ch）	0120 － 480801（フリーダイヤル） 0570 － 008080（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045 － 683 － 8080） 受付時間　9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
NHK 衛星放送受信契約をされていない方は、NHK と衛星放送受信契約が必要です。		WOWOWはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。ラジオ放送（491、492ch）と独立データ放送（791、792ch）は無料放送です。	
スター・チャンネル BS （200ch）	0570 － 010 － 110（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045 － 339 － 1555） 受付時間　10:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.star-ch.co.jp/pc/star		
スター・チャンネル BS はテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。			

お知らせ

● NHK では、BS デジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでに NHK と衛星放送受信契約されていても、本機に同梱されている「B-CAS カードユーザー登録はがき」をお送りいただけない場合、または、はがきを送っても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CAS カードを挿入して 30 日経過後、NHK － BS デジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへのご連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示される NHK のフリーダイヤルにお電話いただき、B-CAS カード番号、住所、お名前、電話番号などをお伝えいただければ、表示されなくなります。
●一部のデータ放送など、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110度CSデジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

● 110度CSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、BSデジタル放送と異なり、個別チャンネルの放送事業者毎ではなく、「スカイパーフェクTV！ 110(スカパー!110)」が、放送チャンネル受信契約の代行を行うこととなります。
● 110度CSデジタル放送では、チャンネル毎の受信契約のほかに、個別に契約申込されるよりも視聴料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
●詳しくは、カスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2004年8月現在の110度CSデジタル放送のカスタマーセンター電話番号とホームページアドレスは次のようになっております。

110度CSデジタル放送	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
スカイパーフェクTV！ 110(スカパー!110)･カスタマーセンター	0570－012－110 または 045 － 339 － 0002 受付時間　10:00～20:00（年中無休） http://www.skyperfectv110.jp/

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

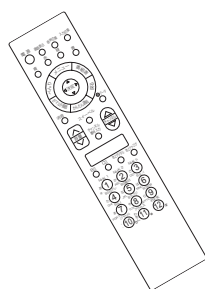
お知らせ

●地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信をさけるために、当初は非常に小さな出力で放送が開始され、段階的に送出出力が上げられていく予定です。このため、放送開始当初は受信エリアが限定されます。

●ブースターなどをご使用されている場合は、段階的に送出出力が上げられた際に、ご使用のブースターなどのレベル調整が必要な場合があります。このような場合は、お買い上げの販売店またはアンテナ工事業者にご相談ください。

付属品について

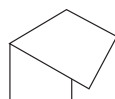
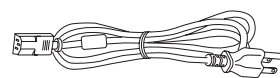
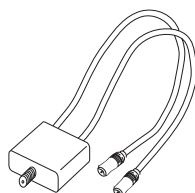
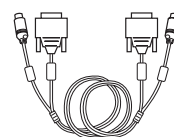
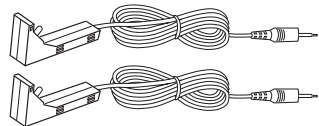
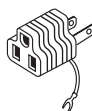
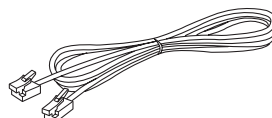
付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

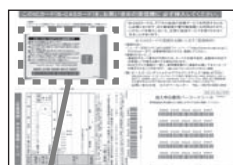
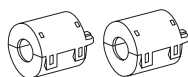
■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

保証書…………………… 1 冊
取扱説明書（本書）…… 1 冊

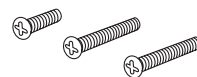
クリーニングクロス 10

単 4 形乾電池（2 本）23

電源コード[1.8m]（灰色）121

リモコン送信機 20

アンテナ 2 分配器 122
(VHF/UHF、地上デジタル入力端子専用)

専用接続ケーブル [3m] 120

IR コントローラー（2 個）131

電源プラグアダプター 121

モジュラーケーブル 127
[10m]

モジュラー分配器 127
（2 分配用）

B-CAS（ビーキャス）カード 126

フェライトコア（2 個）123

縦置き用スタンド 120

スタンド用取付けネジ 120
（短いネジ：1 本
長いネジ：2 本）

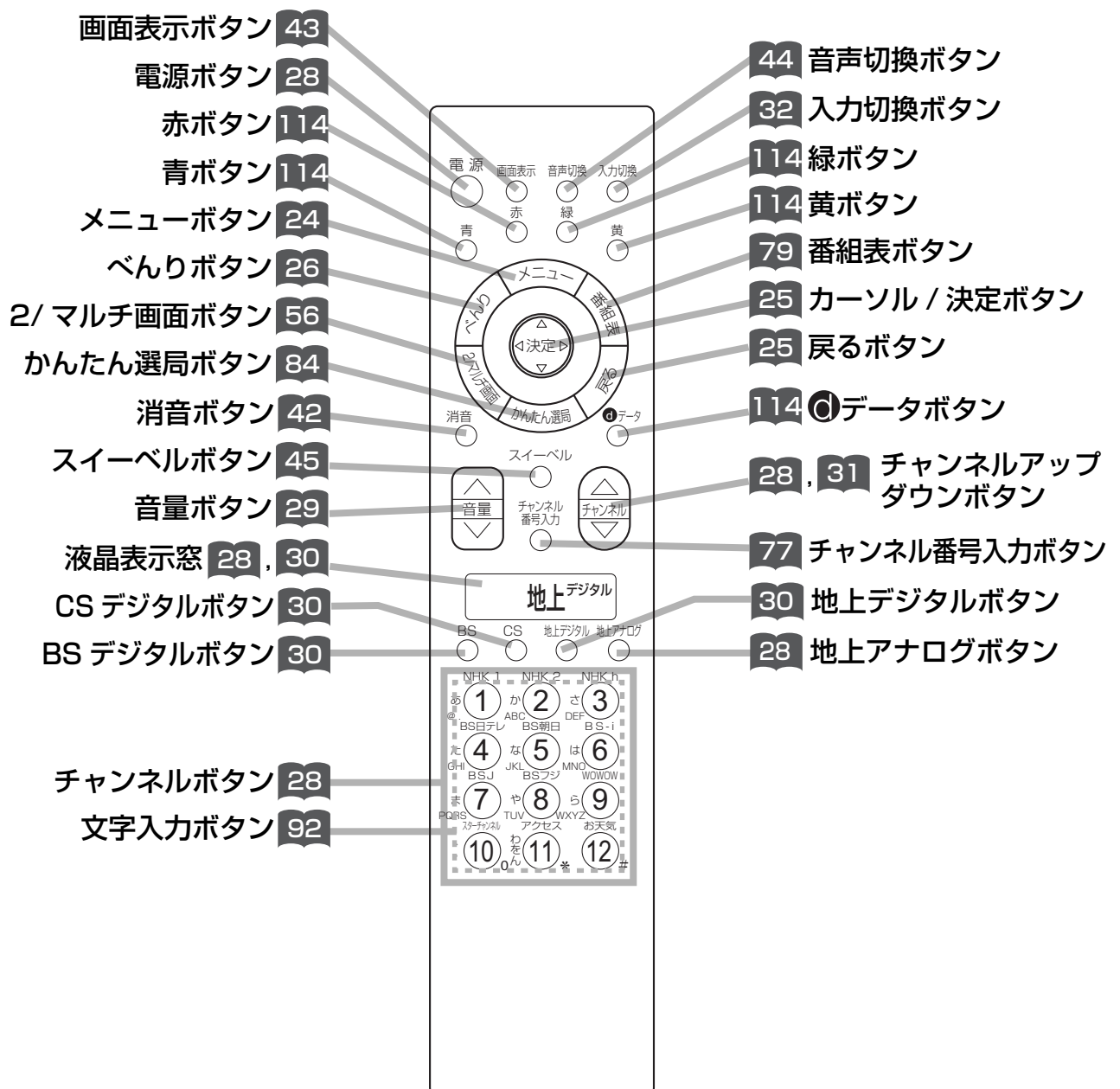
お守りください

●電源コードと電源プラグアダプターは必ず付属品をお使いください。
●付属品の電源コードと電源プラグアダプターは本機以外の電気機器には使用しないでください。

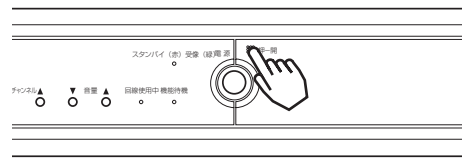
リモコン

内の数字は、参照ページです。

- 画面表示ボタン 43
- 電源ボタン 28
- 赤ボタン 114
- 青ボタン 114
- メニューボタン 24
- べんりボタン 26
- 2/ マルチ画面ボタン 56
- かんたん選局ボタン 84
- 消音ボタン 42
- スイーベルボタン 45
- 音量ボタン 29
- 液晶表示窓 28, 30
- CS デジタルボタン 30
- BS デジタルボタン 30
- チャンネルボタン 28
- 文字入力ボタン 92

- 44 音声切換ボタン
- 32 入力切換ボタン
- 114 緑ボタン
- 114 黄ボタン
- 79 番組表ボタン
- 25 カーソル / 決定ボタン
- 25 戻るボタン
- 114 ⓓデータボタン
- 28, 31 チャンネルアップダウンボタン
- 77 チャンネル番号入力ボタン
- 30 地上デジタルボタン
- 28 地上アナログボタン

AVC ステーション前面

前面とびらの開けかた

とびらの「押ー開」部分を押して、とびら を開けます。

23 リモコン受信窓

46 入力切換ボタン

46 チャンネルボタン

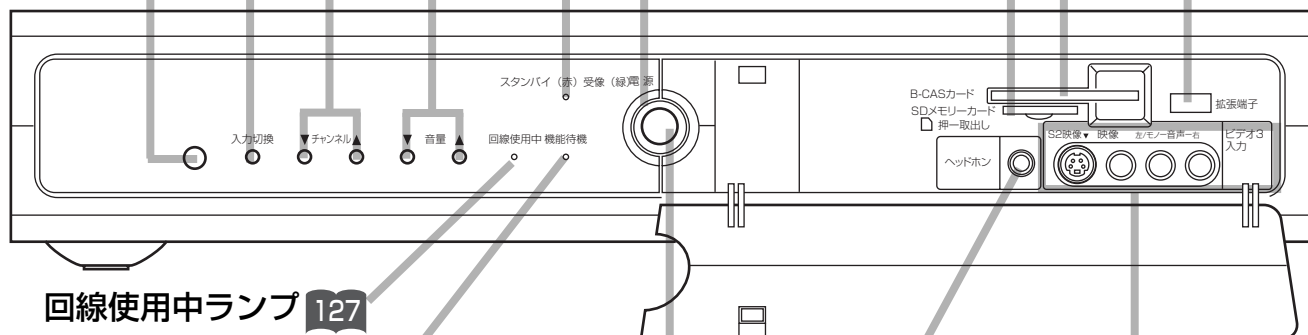
46 音量ボタン

28 スタンバイ／受像ランプ

29 イルミネーションリング
電源を「入」にしたとき点灯します。

SD メモリーカード挿入口 66

126 B-CAS カード挿入口

185 拡張端子

回線使用中ランプ 127
電話回線に接続したときに点灯します。

46 電源ボタン

181 184 ビデオ 3 入力端子

機能待機ランプ

リモコンで電源を「切」にしたとき、次の場合に点灯します。
- ・デジタル ch 固定「入」（予約録画時含む）にしているとき 107
- ・i.LINK 待機を「する」にしているとき 201
- ・ダウンロードしているとき 168 174
- ・有料放送の契約・購入状況などの情報を取得するとき
- ・番組情報を取得するとき
- ・予約録画の開始時刻が 6 分以内にあるとき

ヘッドホン (ミニ) 端子

別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐ端子です。
ヘッドホンの音量を設定することができます。 55

お知らせ

機能待機ランプについて

●リモコンや AVC ステーションの電源またはモニターの主電源ボタンで電源を「切」にしたとき、デジタルチューナー部の内部処理のためにしばらく点灯することがあります。
●有料放送の契約・購入状況などの情報を取得するときは、長期間にわたり毎日一定時間点灯することがあります。

操作ができなくなった場合は

デジタル放送の受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、AVC ステーション本体の電源ボタンを 5 秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。（**デジタルリセット**）

AVC ステーション後面

127 通信端末用アース端子

178 ビデオ 4 入力端子
コンポーネント 1 入力端子

122 UHF/VHF 混合アンテナ端子

183 ビデオ 2 入力端子

178 ビデオ 1 入力端子

178 デジタル録画出力 / モニター出力端子

188 PC(RGB) 入力端子

187 ビデオ 5 入力端子
コンポーネント 2 入力端子

128 LAN 端子

180 光デジタル音声出力端子

127 電話回線接続端子

179 i.LINK 端子

125 BS/CS-IF 入力端子

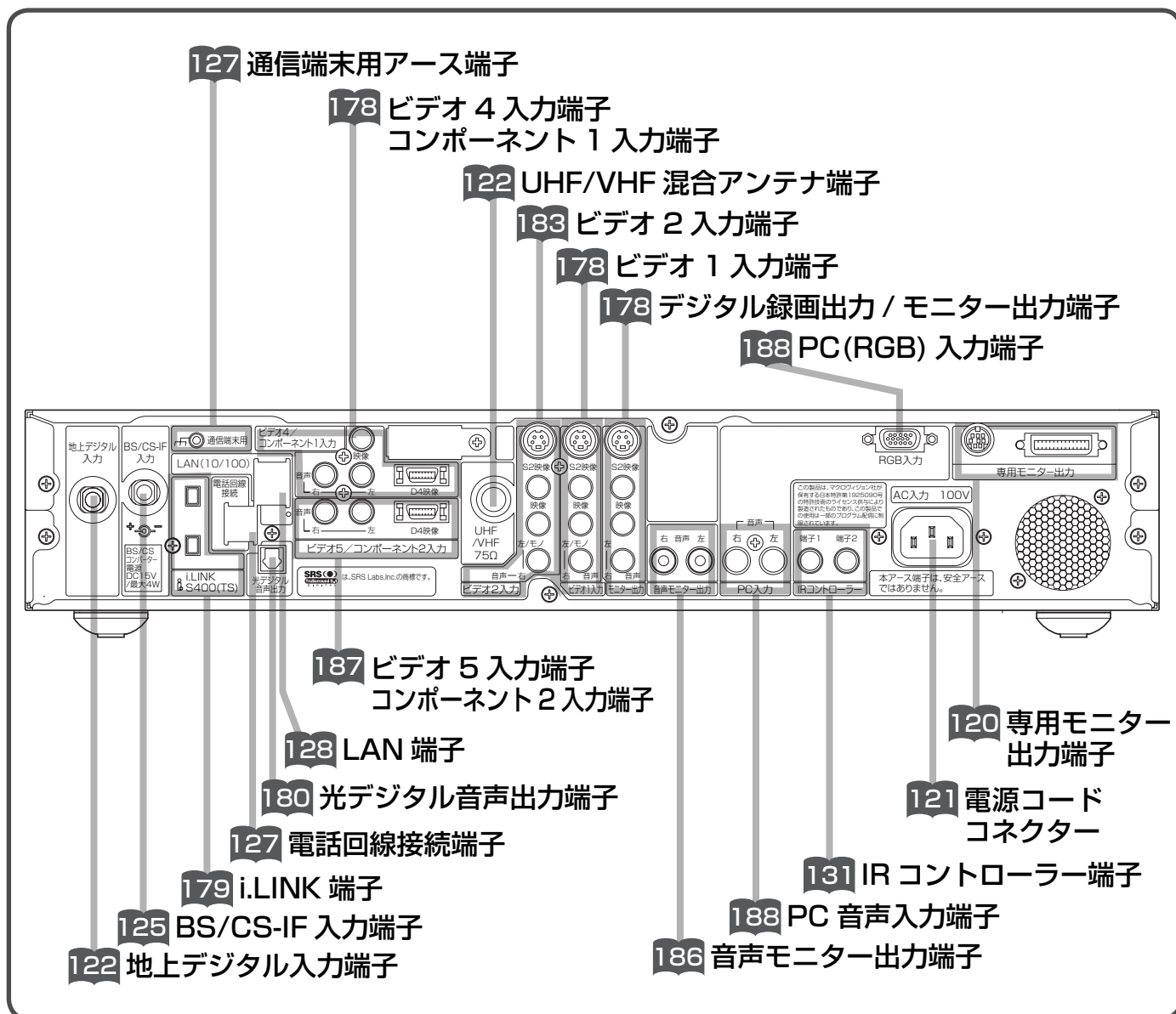
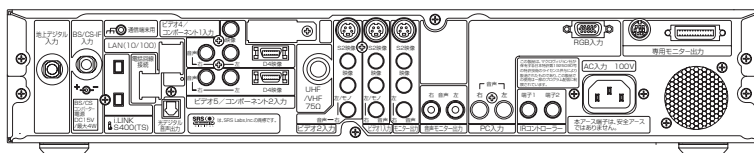
122 地上デジタル入力端子

120 専用モニター
出力端子

121 電源コード
コネクター

131 IR コントローラー端子

188 PC 音声入力端子

186 音声モニター出力端子

将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

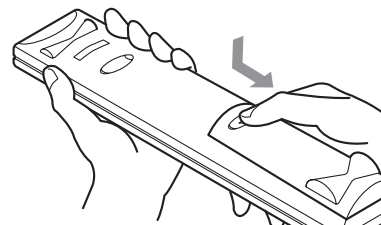
⚠ 注意

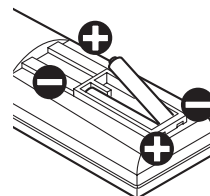
乾電池の使用上のご注意

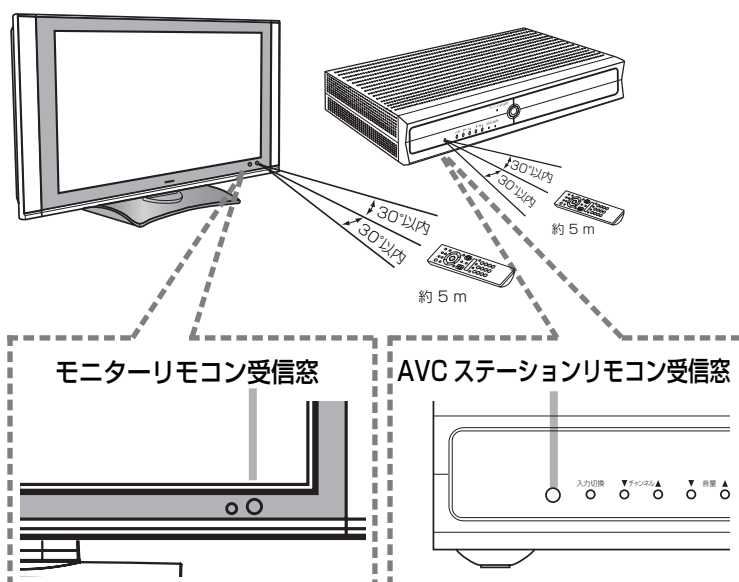
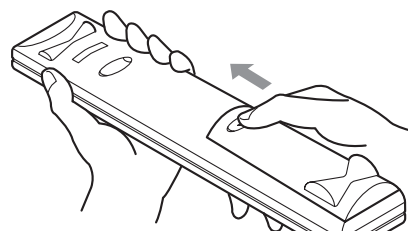
●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

1 電池ぶたをはずす

矢印の方向に押しながら引いて開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単４形乾電池を ⊕ 、⊖ の表示どおりに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

●リモコンは、モニターのリモコン受信窓またはAVC ステーションのリモコン受信窓、どちらに向けても操作することができます。

●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約５メートル、左 30 度、右 30 度の範囲内でお使いください。

●かんたん操作機能 64 を使用して外部機器を操作するときは、本機のモニターのリモコン受信窓に向けて操作します。
　リモコン送信機はかんたん操作モードにより
　・かんたん操作機能 64 使用時：本機に付属のリモコン送信機で操作します。
　・リモコンスルー機能 65 使用時：外部機器専用のリモコン送信機で操作します。

●かんたん操作機能を使用しないで外部機器を操作するときは、外部機器専用のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作します。

お守りください　リモコンの使用上のご注意

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
●液晶表示が薄くなったり点滅したりする場合や、リモコンの操作がしにくくなった場合は、乾電池を交換してください。
●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。